

ロータリークラブとは

●ロータリーとは、自分を磨き人を育て、慈善行為、ボランティア活動などを行う世界的な団体です。

●奉仕理念は「他者への思いやりや心の心、助け合いの心、他人のお役に立つ行いをしようとする心」です。

●目的は、①知り合いを広め奉仕の機会とする ②職業上の高い倫理基準を保ち、社会に奉仕、かつ各自の職業を高潔なものにする ③ロータリアン一人ひとりが日々、奉仕の理念を実践する ④世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進することです。

●誕生は、大恐慌時代の1905年、アメリカのシカゴ。弁護士ポール・ハリス氏ら4人で会合を持ったのが始まりです。活動は全米から全世界へと広まり、現在は200以上の国と地域に3万6千のロータリークラブ、会員数120万人を数えます。世界中のクラブの連合体を、国際ロータリー（RI）と称します。



ポール・ハリス

●日本は1921年に855番目のクラブとしてRIへの加盟が承認されました。現在は、全国34地区、合計クラブ数約2250、会員数約9万人です。
(202006現在)

四つのテスト (The Four-Way Test)

●職業人としてのロータリアンの心構えを、簡潔にかつ的確にまとめたものが「四つのテスト」です。

- 1 真実かどうか
(Is it the TRUTH?)
- 2 みんなに公平か
(Is it FAIR to all concerned?)
- 3 好意と友情を深めるか
(Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIPS?)
- 4 みんなのためになるかどうか
(Will it be BENEFICIAL to all concerned?)

札幌モーニングロータリークラブとは

●1988年6月、日本で1808番目のクラブとして設立。北海道西部2510地区第4グループに属し、古さでは、札幌市内クラブのちょうど中間に位置しています。

●私たちのモットーは「朝日のようにさわやかに」。昼に例会を開催する他クラブと異なり、早朝の開催です。早朝クラブとして日本で3番目の創立ですが、現在では日本全国に川口、青森、旭川、京都、神戸と6つの「OOモーニング RC」が存在し、そのうち神戸を除く5つは姉妹クラブになっています。

●会場は、道都札幌はもとより、遠く手稲山や石狩湾を見渡す開放的な眺望が楽しめるセンチュリーロイヤルホテルの20階、ラジオ体操、ロータリーソング・クラブソングの唱歌、四つのテストの唱和、全員での握手から例会は始まります。

●会員が作詞・作曲したオリジナルクラブソング「世界の奉仕」・「時計台の街サッポロ」・「さわやかな朝」の3曲を持っていることも特色です。

●カミネツコン植樹、インターアクトクラブの支援、インターシッップの受け入れなど積極的な社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕に取り組んでいます。

◆ 会 場 センチュリーロイヤルホテル 20F
(札幌市中央区北5条西5丁目 ☎011-221-2121)
日 時 毎週水曜日 午前 7:30 ~ 8:30
例会数 36 ~ 40 回程度 (年度により異なる)

◆ 会 費 230,000円 (上期・下期二分割)
年会費 115,000円
(35歳以下) 70,000円 (入会時)
入会金 35,000円
(35歳以下)

◆ 創 立 1988年 (昭和63年) 6月23日

◆ 事務所 〒060-0005
札幌市中央区北5条西6丁目道通ビル1F
☎:011-242-3360 FAX:011-219-1308
E-mail:sapporo-morning-rc@purple.plala.or.jp

Rotary



Softly, as in a Morning Sunrise

Good morning

Sapporo Morning Rotary Club
since 1988

みなさんをお待ちしています

We are waiting for you now

札幌モーニングロータリークラブ

奉仕活動 (Service Projects)

- ロータリー活動には5つの奉仕があります。当クラブではすべての奉仕活動を実践しています。
 - 1) クラブ奉仕
クラブの活動を支える基盤の奉仕です。主に例会のプログラム作成や会員相互の親睦活動を行います。
 - 2) 国際奉仕
当クラブが所属する地区と連携し、タイ北部の小学校などに浄水設備を設置する事業の支援を行います。
 - 3) 社会奉仕
当クラブでは長くカミネコン (段ボール製ポット) を利用した植樹活動を行っています。主に幼稚園や小学校等の課外活動の一環として行ってきました。また、2019年からは旧豊平川河川敷に原初の森を復元するという壮大なプロジェクトも実行中です。
 - 4) 職業奉仕
当クラブでは2018年より、各会員の会社にインターンシップ受入れ事業を行っており、会員の職業を通じて、高校生に職業や仕事のすばらしさを伝える奉仕活動を行っています。
 - 5) 青少年奉仕
当クラブは1992年より継続してインターアクトという高校生のボランティア活動の支援を行っています。また、高校生の相互海外留学を支援する青少年交換事業、更に、海外留学生を支援する米山奨学金支援事業なども積極的に行っています。



例会 (Regular Meetings)

- ロータリークラブに入会すると「3つの義務」があります。それは、「会費納入」、「機関誌購読」、そして「例会の出席」です。日本のロータリークラブの父、米山梅吉翁は、「ロータリーの例会は人生の道場」と語っており、例会に出席すると、日常では無い、気づきや出会いがあります。
 - 例会では、外部から招いた講師や、会員による自身の業界や仕事のこと、または人生を振り返っての卓話を聞いたり、クラブの様々な活動の発表を聞きます。また朝食をとりながら、会員相互の懇親を深めることで、とても貴重な情報交換の場になるなど多彩で豊かな時間を過ごすことができます。また場所を変えて、移動例会として、当クラブの社会奉仕活動でもあるカミネコン植樹を行うこともあります。そば店を経営している会員のお店で「蕎麦打ち例会」もあります。通常例会は朝ですが、夜間にも行うことがあります。その際にはお酒なども楽しみながら親睦を深めたり、インターアクトクラブの活動発表を聞いたりします。年末恒例の家族会を楽しみみしている子供たちも多く、アトラクションやクリスマスマスプレゼントが人気です。



親睦活動 (Fellowship Activity)

- ロータリークラブは親睦も大きな目的の一つです。ロータリー活動は「親睦なくして奉仕なし」や、「親睦と奉仕がロータリーの両輪」とも言われています。
 - 四つのテストにもあるように「好意と友情」を深めることで、会員相互が信頼関係で結ばれ、奉仕活動や会員間の職業上の繋がりがより強くなります。
 - 当クラブでは、様々な親睦活動が行われています。
 - ◆会員主催またロータリアン同士でのゴルフコンペ
 - ◆夏は登山、冬はスキーといったアウトドア同好会 (日帰り/宿泊両方あり・年4~6回)
 - ◆リレーマラソンにチームで参加 (温泉+宴会)
 - ◆有志による礼文島での植樹活動+懇親会
 - ◆新入会員が入会した際は盛大に歓迎会
 - ◆家庭集会 (テーマを決めてロータリーを語り合う)
 - ◆クラブとは別に会員個々に夜間懇親会
 - ◆飲食店経営の会員の会のお店に集まり懇親会

※このように会員それぞれが仲良く様々な活動を通じて親睦を深めています。

